

スマイル21

平成17年7月11日
スマイル21プラン委員会
京都市立高倉小学校

第1部会 教育課程に関する部会

○教材開発・教材研究推進委員会 以下の3点についての検討

- 「鴨川水質検査体験教室」(9月3日実施予定)
3年生以上で募集。校区にある鴨川の現状を知ることから、環境への関心を高める。3年総合学習「たくら」や5年社会に生かせるのではないかな。
- 「祇園祭をもっと知ろう」(10月下旬の土曜日)
くみひも作りの体験を通して、祇園祭への関心を高める。学年を問わず募集して、親子で体験する形式なども検討していきたい。
- 「先輩に学ぶ会」(10月下旬)
高倉小学校の卒業生である大学4回生に、仕事を選ぶにあたっての心構えを学ぶ。6年生総合の「仕事と夢」の学習に生かす。

○幼・小・中連携活動推進委員会

- 「高倉子ども祭り」(幼小連携)を振り返って
 - ・幼、1年、2年の縦割りグループで活動する中で、2年生はリーダーとしてメンバーに気を配りながら活動することができた。1年生も園児のお兄さん、お姉さんとして張り切り、よい縦のつながりがもてた。
 - ・3年～6年の児童にとっても、下級生への温かい関わりが見られた。また、お店にも園児が楽しめる工夫が見られるようになってきた。
- 実施時期については、低学年が新しい学年になったばかりなので、秋の実施でもいいのかもわからない。

○読書活動推進委員会

- 小中連携(OGTプロジェクト)
- ・小中連携の内容については、OGT読書部会と連携して検討していく。
- 「親と子をつなぐ読書(仮テーマ)」
講習会等の企画
読書環境を整える
- ・お薦めの本の提案(ミニブック) ・いい本をそろえる
- ・いろいろな本にふれる場の設定 ・お話の森の実施

第2部会 学習指導に関する部会

○学習指導方法改善推進委員会

- 1 「いきいきアンケート」を1日スクールウォッチングの日にとりました。しかし、アンケートの場所がわからなかったり、広報がしっかりできなかったり、高倉子ども祭で授業の部分が少なく、うまくアンケートがとれなかった。もう少し、アンケートのやり方を考えて継続していきたい。
- 2 京都大学との連携の広報活動のあり方を確認した。(裏面参照)
- 3 学力定着調査の結果が出ました。学校で定着調査の分析を行い、日曜参観のなどに結果の報告を行います。テストに表れる学力も大切にしながら、それには表れない力(例 生きる力)も付けていけるようにしたい。

○スマイル講座委員会

- たくら『井戸端会議』 第3回 9月9日 金 7時～
テーマを設定して、会話の内容を豊かにしていく。
- 親子着付け教室 第3回 7/15(金) 16:30～
自分で着付けするときのポイント、帯の結び方のバージョンアップ
- 新しい企画
「パン作り」「おせち作り」 お年寄りの方から学ぶ中で交流を深める。

第3部会 学校運営のあり方に関する部会

○スポーツ・文化・福祉安全活動推進委員会

- 親子トイレ掃除 次回 7月23日 午前8時～
- ・掃除の仕方が十分に理解できていないので、前もって子どもリーダーに掃除の仕方を教えておくとよい。
- ・トイレがピカピカになると他の場所も美しくしたくなる。人数の多いときは、廊下なども掃除してもいいのではないかな。

高倉まつり 前夜祭(映画会)の企画 7月22日 金 午後7時～9時

- ・DVD 「Mr,インクレディブル」 新しく親子で楽しめるので
- ・案内文、ポスターを児童に配布。地域にも回覧で知らせる。
- ・うちわ 上村様より120のうちわを寄贈いただく。
- ・看板も前夜祭から設置し、雰囲気盛り上げるようにする。
- ・保護者同伴での参加。(水筒の各自持参で)

○評価推進委員会

「1日スクールウォッチング」のアンケートより

- その日の行事についてのアンケート項目については、楽しさ、意欲、ねらいに対する児童の姿などを評価する。保護者・教職員についても同じ項目でアンケートをとり、次年度の取組に生かすようにする。
- また、学校の取組についても挨拶、楽しい学校生活、教職員の熱意、安全への配慮、昨年との比較の項目で、何度かアンケートをとり、その変容を見ていく。
- ・アンケートは、参観者に配布し、項目毎に記入してもらう。内容によって2段階、4段階の評価を使い分ける。
 - ・記述式の部分も用意し、多くの意見を集約し今後の取組に生かす。受付で参観者に配布し、記入する場所も設置するなどの工夫をし数多くの協力を得る。

大脇先生より 以下の3点についてご指導いただきました

- 「子どもの姿を語る会」
- ・スマイル21プラン委員会での話し合いには、必ず子どもを中心に据えた視点で話が行われている。その取組が「子どものどんな力をつけているのか」、「どんな心を育てているのか」について常に振り返りをしていくことが大切である。
- 「共同して行う」
- ・各委員会が独自性を発揮して取組を進めてきたが、それぞれの取組を共同で行うあるいは全てのメンバーで行う取組を作っていくことも大切である。
- 「やわらかさ・確かさ・豊かさ」を育む取組を進める。